

# 里地・里山 だより

## 活動報告号 2024 春

発行  
里山フォーラム in 麻生  
川崎市麻生区万福寺 1-5-2  
麻生市民館気付け

- もくじ P1 第18回わたしのまちのホッとする風景写真展
- P2 P3 “2024 里山フォーラム in 麻生” 第1部、第2部
- P4 P5 あさお里山こどもクラブ
- P6 里地里山ナチュラリスト養成講座
- P7 P8 里地・里山カフェ塾（からむし講座、万福寺人参）

## 第18回 わたしのまちのホッとする風景写真展（今編、昔編）

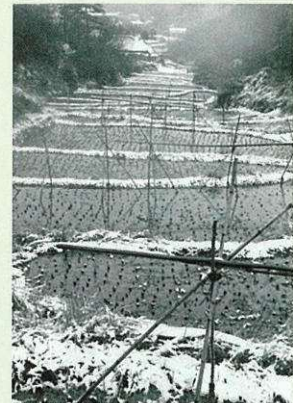
寄せられた 158 点の作品からは、足もとの自然に誘われ、まちを歩いて 見て 出会った 自然暮らし 出来事などが映し出されていました。昔の写真も多く提供され、麻生区の里山の歴史が蘇って来ました。展示は麻生市民館のウォールギャラリーで 2月9日～3月5日まで行いました。《受賞作品の紹介》（本写真展はコンテストではありませんが賞を設けています。）



麻生区長賞 石井信〔森の中の繭〕  
岡上梨子木特別緑地保全地区



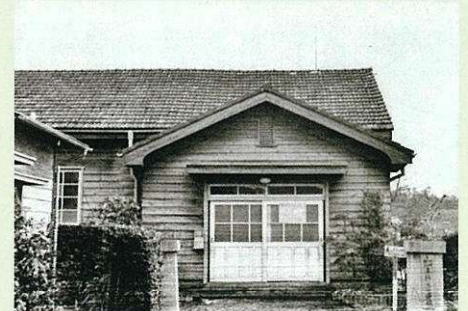
麻生市民館長賞 井上俊夫  
〔四季・春夏秋冬〕から春  
白山神社下側の田んぼ



里山フォーラム賞 鈴木秀雄  
〔万福寺十二神社物語〕〔四十八枚田〕〔茅葺き屋根の綿帽子〕から  
四十八枚田 万福寺



ホッと賞 左から 雛倉正人〔卵の花咲く都市河川〕上麻生6丁目 安藤敬〔メジロの舞い〕白鳥 真下智彦〔スプリング・エフェメラル〕黒川 大友洋祐〔茜差す頃に〕王禅寺西  
（氏名〔作品タイトル〕撮影場所）



特別賞 左から 市嶋新〔金程から眺めた勝坂の丘〕〔千代ヶ丘から金程に通じる道〕から 1981年金程から千代ヶ丘の勝坂のある丘を眺めたもの 井上康輔〔葉積台から見た山口谷戸と山口台 40年の変化〕から 1983年葉積台から山口谷戸を見たもの 井上俊夫〔雪の白山神社〕〔大正の頃の民家〕〔我が母校〕から 1958年頃の東柿生小正門

# 2024 里山フォーラム in 麻生

2月23日(金曜・祝日)

麻生市民館  
大会議室



9:30 一般受付開始 総合司会 石井よし子  
「フォーラム資料集 23」配布 ポスターセッションと交流  
10:00 第1部

- 柿生の山伏 高橋昂希 先導
- オープニング 柿生中学校吹奏楽部 演奏
- 挨拶 里山フォーラム in 麻生代表 堂前雅史  
麻生区役所区長 山本奈保美
- 第18回 わたしのまちのホッとする風景写真展  
今編、昔編 表彰式

- 子どもたちの発表「私たちが地域とともに学んでいること」
- \* 岡上小学校 「イツツ岡上ワールド～里山(丸山)と共に～」
- \* 東柿生小学校 「輝け 里山 一番星☆」
- \* 柿生小学校 「柿生の里山の魅力を伝えよう」
- お楽しみワークショップ

- \* ムクロジってなあに？ ムクロジ(無患子)で遊ぼう！
- \* 炭に触って、切ってみよう



(昼食休憩) ポスターセッション

12:45 第2部

- 挨拶 麻生市民館 館長 齊藤誠  
環境局企画課 課長 藤田晃史  
建設緑政局緑政部緑化フェア推進室担当課長 矢口菊子
- 基調講演 「足もとの生物多様性から未来へ」  
堂前雅史 和光大学人間学部教授

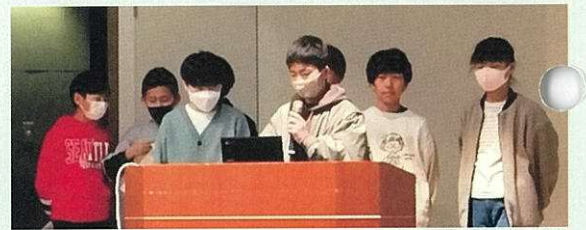
- 展示団体・施設によるトークリレー  
「みどりを守る・環境を守る・いのちをはぐくむ を繋ごう！」
- ◎ 麻生の地元農産物紹介 お野菜当選番号発表

15:00 閉会

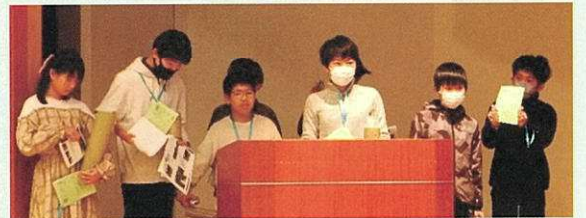


柿生の山伏の先導のもと  
山本区長、岸副区長、齊藤市民館長、堂前代表の  
入場です。

オープニングは大会議室に響き渡る柿生  
中学校吹奏楽部の元気な演奏。「かきくけ  
かきお」のメロディには参加者も手拍子で  
湧きました。後輩となる岡上小学校、東柿  
生小学校、柿生小学校の児童の皆さんも勇  
気づけられるようにしっかりと楽しく発表  
してくれました。



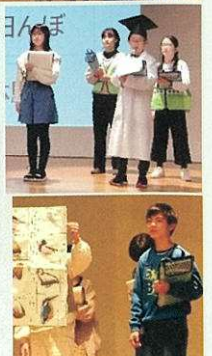
岡上小 6年生は学校山ともいえる丸山で、  
テーマごとに考えて、学び、実行している  
ことの発表です。テーマは・丸山改革大作  
戦・岡上の至宝・丸山に秘める遺跡・地形・  
生き物・継続するには？などでした。



東柿生小 6年生は早野の里山で取り組  
んでいることの発表です。竹でものづくりで  
は竹ランタンの紹介も。里山 SDGs フェ  
スでは生きもの探検・紹介をしている。植  
樹は3年生から取り組むなどを発表。



柿生小 5年生 130人がそ  
れぞれの関心のあるテー  
マを持って、柿生の里へ  
来て 遊んで 学んで 調  
べて 作業もしました。  
会場では14人がその1年  
間の成長の賜物と言える  
発表をしました。



4年振りのフルバ  
ンでの開催です。  
余の方々が参加し、  
子どもたちの発表を  
聞きました。



初めの挨拶：堂前代表は麻生区は都市でありながら自然と隣接し、気候変動や生物多様性を実感できる場所である。市民、行政の努力、様々なジャンルの協同でなされ維持できている。一堂に多様な人々が会することができるのは麻生区の宝であると話しました。

山本区長は、本事業は農と環境を活かしたまちづくり事業に位置づけられている。開催中の写真展を見たが素晴らしい写真が残されていることや、気持ちが反映された写真が多いのは麻生区の貴重な財産である。麻生区は素晴らしい自然と出会う場所である。区民の努力に感謝し、川崎のこれからの100年、地域の次世代にこのような活動の輪が広がるようにと話されました。



山本奈保美区長

### 麻生区はネイチャーポジティブ拠点

- ・都市生活と野生生物が隣接
- ・環境教育への活用
- ・市民の自発性による多様な管理
- ・市民の力でグリーンインフラが充実したネイチャーポジティブなまちに



堂前先生の基調講演：2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させるというネイチャーポジティブの実現を目指すという目標を見据え、都市全体を重要な自然と位置づけ、麻生区の特徴を踏まえると麻生区はネイチャーポジティブの拠点になるのではとお話されました。お話は18枚のスライドで進められました。(ネイチャーポジティブ-昨日新百合ヶ丘駅で-環世界という見方-動物は我々とは異なる環世界の住人-都市といえども野生動物のすみ場所-ネイチャーポジティブ 2020-GDPの自然への依存度-自然共生サイトの認定-グリーンインフラ:都市の自然のもうひとつの価値-都市の緑地は重要なグリーンインフラ-都市緑地をOECDとするにあたっての課題 1.孤立した生態系の問題 2.誰が管理するか問題 3.保護区指定の自己目的化問題-麻生区はネイチャーポジティブ拠点



齊藤さん:里山を末永く生活と共に維持できればと思う。藤田さん:生物多様性に貢献している活動の数々を見せてもらった。市民参加型の生き物探しをぜひ願います。矢口さん:緑化フェアを二期開催するのは川崎市が初めて。里山のブースも用意する。

### ポスター展示とトークリレー (参考:フォーラム資料集 23)

(紙面並びに写真の都合上一部紹介)



多摩美みどりの会

あさおプレーパークを創る会

花と市民参加の会

森もりクラブ

吹込みクローバーの会

早野聖地公園里山ボランティア

はるひ野里山学校

高石みどりの会

かわさきかえるプロジェクト

はぐるま稗原農園

麻生区クールアース推進委員会

があでん・らら

水辺のある里山を守る会

和光大学・かわ道楽

NPO かわさき自然と共生の会

麻生ヤマユリ植栽普及会

柿生の里クラブ

万福寺人參友の会

和光大学地域連携研究センター

おっ越し山クラブ

# あさお 里山こどもクラブ

こどもたちが育つ足元の麻生の里地里山の恵みや不思議を  
探検・発見、そして体験するプログラム。

耳を澄まし目を凝らし、自分の手と体と心で感じ、  
自分の頭で考えましょう。

「不思議」がむくむく湧いてきたら  
調べてみよう、聞いてみよう！

## 第1回 10月29日(日曜) 自然は、友だち

「一緒に遊ぼう！ あなたってなぁーに？ と草や木に聞くと…」

- ・場所 王禅寺ふるさと公園(市制60周年記念総合公園)
- ・講師 高柳芳恵(ナチュラリスト)



高柳先生と一緒に公園内を移動しながら自然観察と実験をする。

公園入口付近でジョロウグモの抜け殻を観察、ネズミモチの種で遊ぶ。池のそばでドロバチの巣の観察。キチヨウの蛹とハギの葉っぱ。

谷戸のへりの雑木林が残っている所を登って行きながらコナラのドングリを拾う。上のベンチでクロガネモチの葉っぱに字を書いて、マルバアオダモの小枝の蛍光物質が見えるか実験。ヒサカキの実で遊ぶ。ドングリを拾うシラカシ、スタジイ、マテバシイ

## 第2回 11月5日(日曜) 岡上に出会う

「川・田んぼ・山がある岡上、何が見つかるかな？」

- ・場所 岡上地区(鶴見川～岡上梨子ノ木特別緑地保全地区)
- ・講師 堂前雅史(和光大学教授) 齋藤透(和光大学)

かわ道楽 樋田智徳 菅沢志大 荒井武翔

堂前先生からは、谷戸という地形、谷戸の神様、角の生えたへびのお話までありました。田んぼや畑を通過して谷戸のてっぺんの緑地へ登るとオオタカが2羽空高く飛んでいました！そこはカヤの生える草地、コナラの植林地、元々の雑木林があってそれぞれの生態系があるそうです。住んでる虫さんも違うのだそう。アカネズミとドングリのお話もありました。

